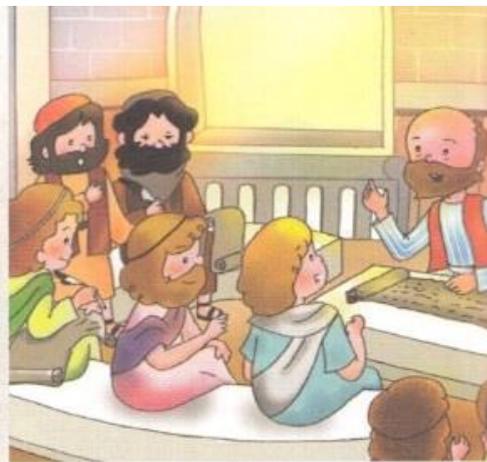


れいはいはさいこうのしゅくぶ

まいにち
れいはい

わたしを あいしてくださる かみさまに
さいこうの えいこうを ささげましょう

タラントの ながれ



- いのり _____ しかいしゃ
- しとしんじょう _____ みんなで
- さんび _____ さんびか 204 ばん (つみとがをゆるされ) 夢をもつきみ (2019 ねんこどもさんび)
- せいしょ _____ しと 19:8~10

使徒19:8~10 それから、パウロは会堂に入^{はい}って、三^{さん}か月の間^{げつ}大胆^{たいだん}に語^{かた}り、神^{かみ}の国^{くに}について論^{ろん}じて、彼^{かれ}ら^らを説^{せつ}得^{とく}しよう^{つと}と努^{つと}めた。しかし、ある者^{もの}たち^{たち}が心^{こころ}をかたく^たく^くにして聞^きき入^いれず、会^{かい}衆^{しゆう}の前^{まえ}で、この道^{みち}をの^のの^のした^{した}ので、パウロは彼^{かれ}ら^らから身^みを引^ひき、弟^で子^したち^{たち}をも退^{しりぞ}かせて、毎^{まい}日^{にち}ツラノの講^{こう}堂^{どう}で論^{ろん}じた。これ^これ^れが二^に年^{ねん}の間^{あいだ}続^{つづ}いた^{つづ}ので、アジヤ^あに^に住^すむ者^{もの}はみな、ユダヤ^よ人^{じん}もギリシヤ^し人^{じん}も主^{しゅ}のこ^こと^とば^ばを聞^きいた。

- みことば _____ タラントのながれ _____ しかいしゃ

人^{ひと}は神^{かみ}様^{さま}ととも^とに^にい^いるとき^{とき}、幸^{しあ}せ^わです。と^ところ^ろが、サ^さタ^たン^んにだ^だま^まさ^されて神^{かみ}様^{さま}から離^はな^なれてしま^しいま^ました。神^{かみ}様^{さま}は私^わた^たしととも^とに^にい^いるた^ために、女^{おんな}の子^し孫^{そん}と^として来^くるこ^こと^とを約^{やく}束^{そく}して^{して}く^くだ^ださ^さい^いま^ました。そ^その^の方^かこ^こそ^そイ^いエ^えス^す・キ^きリ^りス^すト^とです。

イスラエル^い民^{みん}族^{ぞく}は女^{おんな}の子^し孫^{そん}の契^{けい}約^{やく}を^をの^のが^がしま^ました。結^け局^{きよく}、強^{つよ}い^い国^{くに}の奴^ど隷^{れい}にな^なり^りま^ました。捕^ほ虜^{りよ}と^として連^つれて^てい^いか^かれるこ^こと^ともあ^あり^りま^ました。属^{ぞく}国^{こく}にも^もな^なり^りま^ました。そ^その^のよ^よう^うな^なと^とき^きに^にかな^から^らず^ず神^{かみ}様^{さま}はレ^れム^むナ^なント^{んと}を^を残^{のこ}され^れま^ました。レ^れム^むナ^なント^{んと}は弱^{よわ}か^かつ^つた^たの^ので^です^すが、サ^さタ^たン^んに^に支^し配^{はい}さ^されて^てい^いた^た強^{つよ}い^い国^{くに}を^を生^いか^かしま^ました。

神^{かみ}様^{さま}は^はいま^{いま}契^{けい}約^{やく}を^を回^かい^いふ^ふく^くす^すこ^こと^とを^を願^{ねが}って^てお^おら^られ^れま^ます。イ^いエ^えス^す・キ^きリ^りス^すト^との^の契^{けい}約^{やく}を^を回^かい^いふ^ふく^くす^する^る人^{ひと}に、世^せか^かい^いを^を生^いか^かす^すタ^たラ^らント^{んと}を^を備^{そな}えて^てお^おら^られ^れま^ます。

- いのり _____ いっしょに おおきなこえで
いのりましょう

ち^ちなる^{なる} か^かみ^みさ^さま、あ^あり^りが^がと^とう^うご^ござ^ざい^いま^ます！お^おんな^{んな}の^の し^しそ^そん^ん イ^いエ^えス^す・キ^きリ^りス^すト^とが^が わ^わた^たし^しに^にと^とつ^つて^て す^すべ^べて^てに^に な^なり^りま^ます^すよ^よう^うに。そ^その^のな^なか^かで^で わ^わた^たし^しの^の タ^たラ^らント^{んと}を^を は^はっ^っけん^{けん}す^すこ^こと^とが^がで^でき^きま^ます^すよ^よう^うに。イ^いエ^えス^す・キ^きリ^りス^すト^との^の お^おな^なま^まえ^えに^に よ^よつ^つて^て お^おい^いの^のり^りし^しま^ます。ア^あー^あメ^めン

- しゅのいのり _____ いっしょに しゅのいのりを いのって れいはいを おえましょう
- フォーラム _____ きょうの みことばを きいて パパとママと はなしを しましょう



まいにち
チェックしよう

133とは、みことばを 1にち 3かい 3かいずつ よめば
いっしゅうかんに おぼえることが できるという いみです。

15

げつようび

あまくて ふしぎな かみさまの みことばを まいにち よみましょう。
よく みえる ところに はっておいて いっしゅうかん
くりかえし よんで みことばを おぼえましょう



それから、パウロは かいどうに はいって、
さんかげつの あいだ だいたんに かたり、
かみのくにに ついて ろんじて、
かれらを せっとくしようと つとめた。
しかし、あるものたちが ころろを
かたくなにして ききいれず、
かいしゅうの まえで、
このみちを ののしったので、
パウロは かれらから みを ひき、
でしたちをも しりぞかせて、
まいにち ツラノの こうどうで ろんじた。

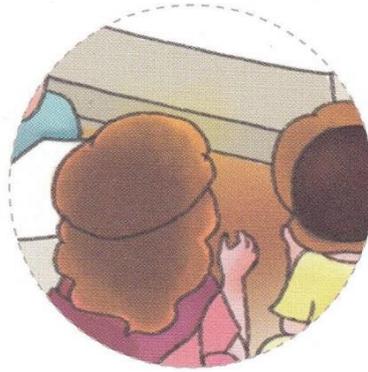
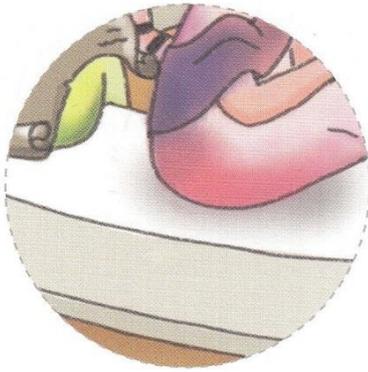
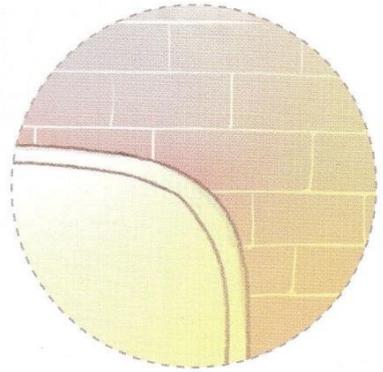
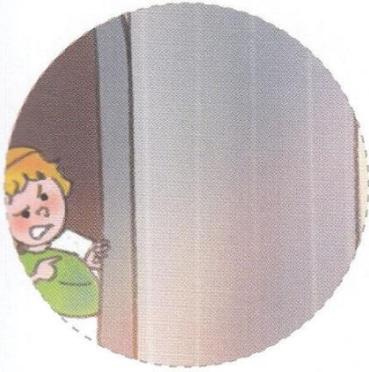
しと19しょう8~9せつの みことば

かみさまは せかいを そうぞうされた ときから いままで
ひとは かみさまの けいやくを しんじて いのれば よいと
みことばで かたって おられます。いつの じだいでも かみさまの
みことばを けいやくとして にぎった ひとは すべて
れいてきサミットの しゆくふくを あじわいました。
つぎの ページから あう えを きりとって はりましょう。



じゅんびする もの： はさみ のり つぎのページ





きょうも パパとママと いっしょに れいはいしましょう。
きょうの みことばで じゅうような たんごを もういちど
かながえてみましょう。
したの ないようを よんで じゅうような たんごを
なぞって かきましょう。



かみさまは

いま けいやくを

かいふく することを

ねがって おられます。

イエス・キリストの けいやくを

かいふくする ひとに、

せかいを いかす

タラントを そなえて おられます。

さがして いろをぬろう

どこ？

かくれている えを みつけれり きれいに いろを
ぬったり しましょう

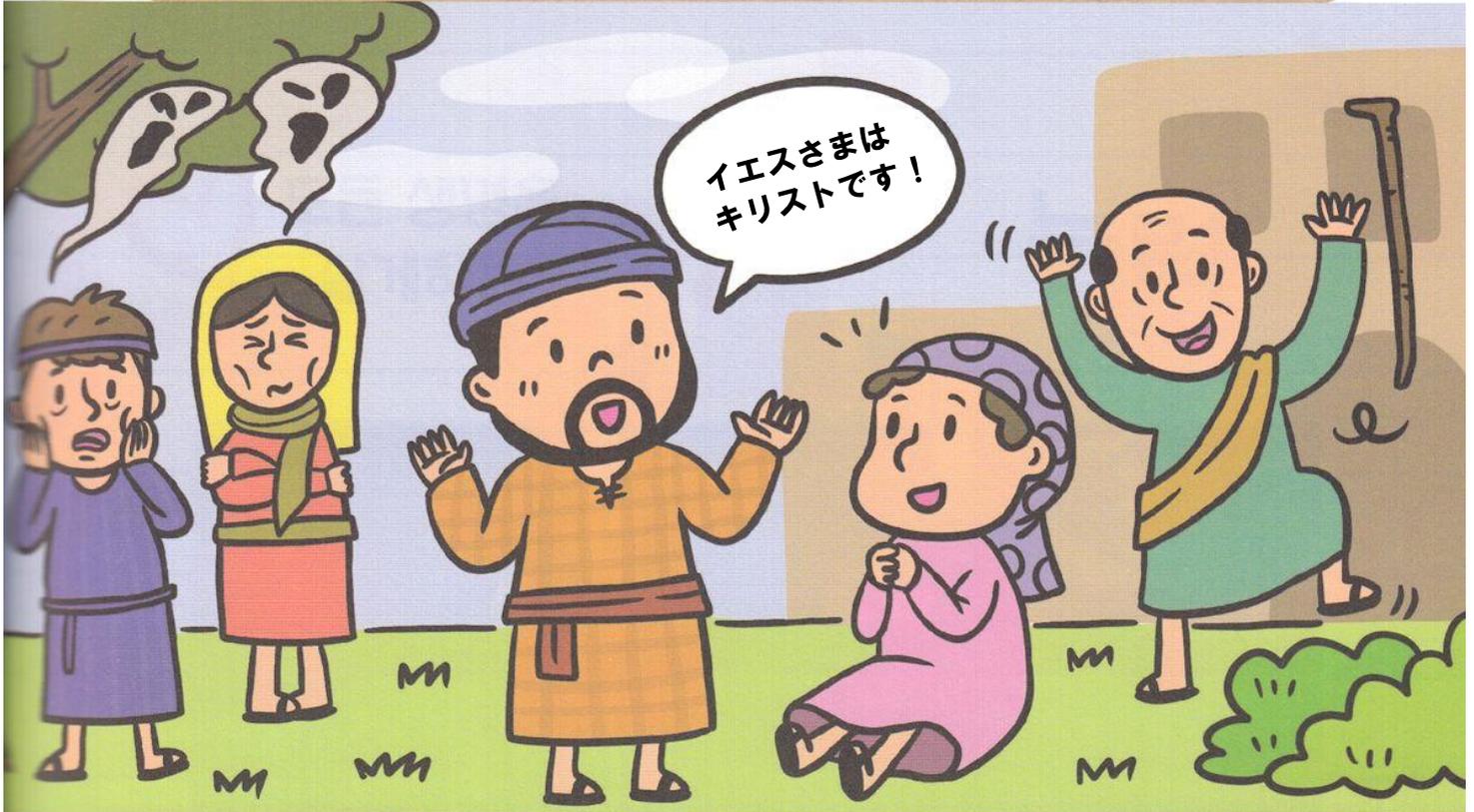
18

もくようび



このよの もんだいの なかで ほりよ どれい ぞっこくに なっている
ひとを いかす みちは ふくいんを かいふくすること だけです。
ふくいんを かいふくするには イエス・キリストを しゅじんとして
おうとして わたしの こころの なかに うけいれれば よいのです
この じじつを おぼえながら したの えの ちがうところを
みつけましょう。

ちがうところ | 7つあります



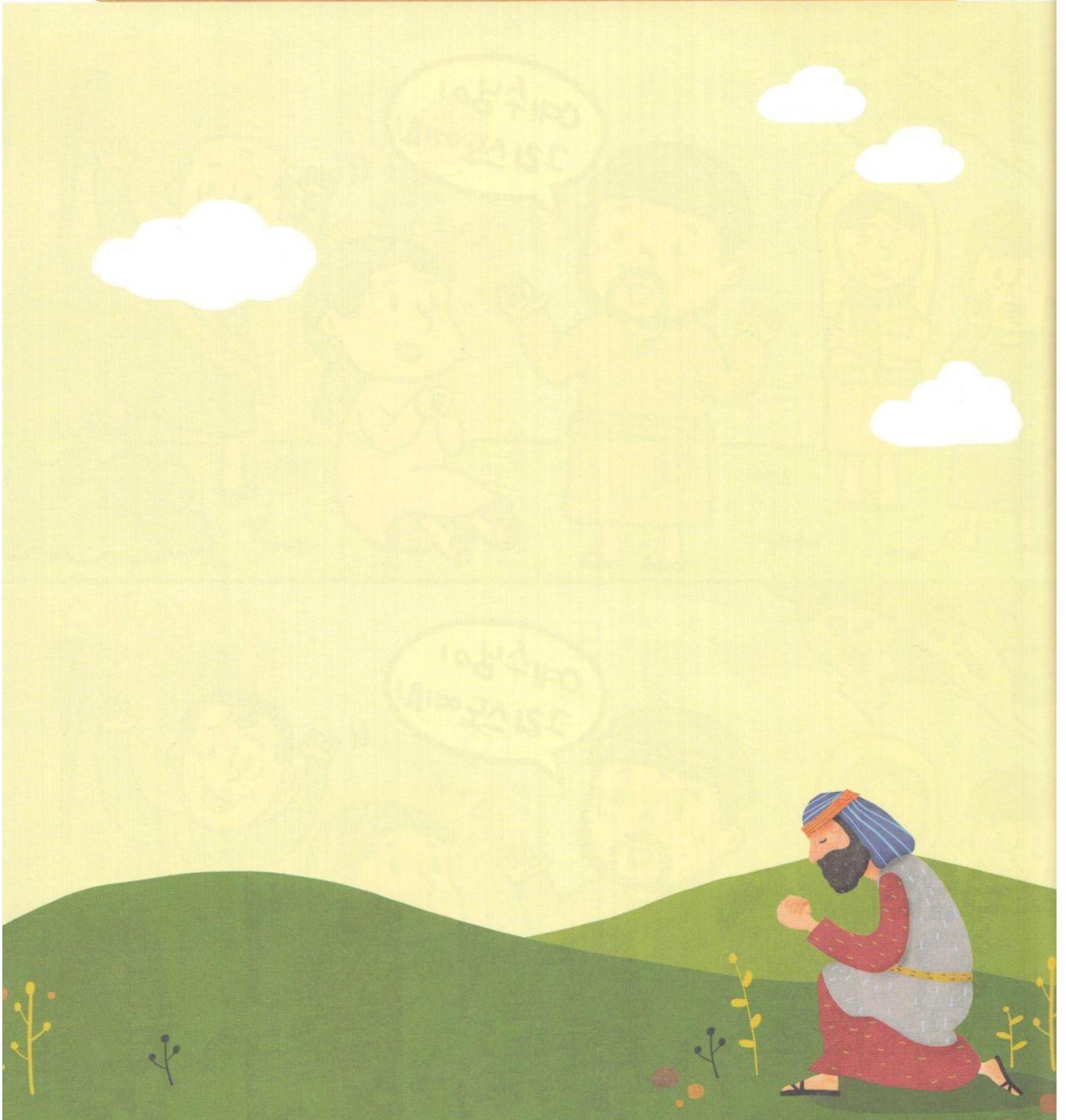


パパとママと いっしょに おはなしして
かみさまが よろこばれる かんがえ ことば こうどうを
えで ひょうげんしましょう。

● きんようび

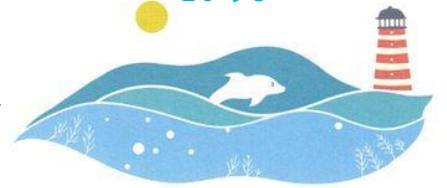


きゅうやく じだいの ひとたちは どんな けいやくを にぎって
しょうりしたのでしょうか。
かぞくと はなしを わかちあって えか じで ひょうげんしましょう。



たのしい ワークをして いっしゅうかんの みことばを
ここに きざみましょう

くうきの なかにも みずが あることをしていますか。 みずは めに
みえないのですが とちに、 わたしたちの からだに、 きに ながれて
すべての いのちを いかしています。 かみさまの みことばも めには
みえないのですが その みことばを しんじて いる ひとに すべてを
いかす おおきな ちからと なります。 したの ワークを しながら
くうきの なかの みずを かくにんしましょう。



じゅんぴするもの | ガラスのコップ2つ ジュース こおり

すべての いのちを
いかす



ちから



- ① じゅんぴするものを そろえます
- ② ガラスコップ2つに みずと ジュースを 入れて
まぜます
- ③ ひとつの コップに こおりを 入れます
- ④ こおりを 入れた コップの ひょうめんに
すいてきが つきます。
- ⑤ その すいてきは どこから できたのでしょうか
- ⑥ そう、それが くうきの なかに ある みずです。
- ⑦ くうきの なかに あった みずが つめたく
なったので すいてきになりました。
- ⑧ かんしゃして いのって
こおりが はいった つめたい ジュースを
のみましょう。

